

2023年2月21日

狭い通路でもスムーズに移動する配膳・運搬ロボット  
「Keenbot T8 アイリスエディション」を本日より販売開始  
最小 55cm の狭い通路幅でも走行可能



アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、狭い通路でも安定して、安全に走行できる配膳・運搬ロボット「Keenbot T8（キーンボット ティーエイト）アイリスエディション」※の国内販売を開始します。

コロナ禍を経て、サービス業を中心に、労働力不足が深刻化しています。特に飲食・外食産業においては、海外からの入国制限の緩和に伴う外国人観光客の増加や、新型コロナウイルス感染症と経済活動の両立により、一層の需要拡大が見込まれます。そうした中で、サービスレベルを維持・向上しつつ業務効率化を実現できる、自動化・DX への注目が高まっています。

当社は、ロボティクス事業に 2020 年 11 月に初めて参入し、ソフトバンクロボティクス株式会社が提供するサービスロボットに当社の独自開発によるオプション機能を付加した「アイリスエディションシリーズ」を発表しています。2021 年 2 月には、ソフトバンクロボティクスグループ株式会社と合併でアイリスロボティクス株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）を設立しています。

今回発売する「Keenbot T8 アイリスエディション」は、幅 38.4 cm のスリムなボディと安定した走行が特長で、狭い通路の店舗（最小通路幅 55cm）でもスムーズに運搬できます。また、高品質なサスペンションが衝撃を緩和し、安定した走行を実現。周囲の環境に合わせて自動で速度を調整して走行できるため、ドリンクなど液体物も安全に運べます。

当社は今後も、使用環境に合わせてより適切で柔軟な製品の開発と提案を行い、ロボットを活用した新たなアイデアで、人とサービスロボットの共存を推進し、業務・環境改善ソリューションを提供します。

※ KEENON Robotics 株式会社（本社：中国上海、代表：Tony Li）が開発、製造。ソフトバンクロボティクス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：富澤 文秀）が輸入、販売元。「Keenbot T8 アイリスエディション」の販売開始に伴い、これまで当社で取り扱ってきた配膳・運搬ロボット「Keenbot（キーンボット） アイリスエディション」の名称を「Keenbot T5（キーンボット ティーファイブ） アイリスエディション」へと変更いたします。

## NEWS RELEASE

### ■配膳・運搬ロボット「Keenbot T8 アイリスエディション」 特長

#### 1. 狭い通路幅でも走行可能

幅 38.4cm のスリムなボディは、ラーメン店や居酒屋などの狭い通路の店舗（最小通路幅 55cm）でも、スムーズに走行できます。

#### 2. ドリンクなどの液体物も安定して運搬

高品質なサスペンションが衝撃を緩和することで、スムーズで安定した走行を実現。さらに環境に合わせて、自動で速度を調整して走行するため、ドリンクなどの液体物も安全に運べます。

#### 3. 各トレイに搭載した画像認識カメラが受け取りを検知

各トレイに画像認識カメラを搭載。トレイから料理やお皿などが受け取られたことを検知して、自動で指定の場所に戻ります。また、取り間違いが発生した際に発話することができます。

#### 4. ユーザビリティの高いデザイン

トレイはどの方向からも取りやすいオープンなデザインです。各トレイに搭載された LED ライトで対象のトレイをわかりやすくお知らせすることで、複数卓配膳にも対応。大型のタッチスクリーンで直感的な画面操作が可能です。

国内での販売開始に先駆け、株式会社さんぱち（所在地：北海道札幌市）が運営する「ラーメンさんぱち」の 21 店舗において導入検証を行い、導入が決定しています。



株式会社さんぱち様からのコメント：

「小規模の店舗でもラーメンや飲み物などを安定して運ぶことができ、ワンオペの時間帯でも従業員の負担軽減となり助かっています。トレイ部分の LED ライトが点滅するため、お客様もスムーズでわかりやすいです。小型なボディや可愛い表情で走行するところも愛嬌があり、すっかりスタッフの一員です。」

また本日より、株式会社力の源ホールディングス（本社：福岡県福岡市）が運営するラーメン専門店「博多一風堂」の下記 2 店舗においても「Keenbot T8 アイリスエディション」の導入検証を開始しました。

#### ■ラーメン専門店「博多一風堂」での導入検証について

本格的な配膳・運搬ロボットの店舗導入と店舗 DX の推進にあたり、下記 2 店舗で「Keenbot T8 アイリスエディション」を試験導入し、業務効率化、サービスレベル向上、従業員満足度への影響などを検証。今回の検証を経て、国内外に展開する様々な形状の店舗への導入を検討予定です。

（実施店舗と期間）

- ・横浜泉店 2月21日（火）～3月7日（火）
- ・サンリブシティ小倉店 2月28日（火）～3月14日（火）

当社では、スリムなボディで安定した走行が特長の「Keenbot T8 アイリスエディション」の販売開始により、通路が狭く、これまで配膳・運搬ロボットの導入が難しいとされてきたラーメン店や居酒屋などのお客様へのご提案を進めていく予定です。

## NEWS RELEASE

### ■配膳・運搬ロボット「Keenbot T8 アイリスエディション」製品画像



© KEENON Robotics | IRIS OHYAMA

### ■配膳・運搬ロボット「Keenbot T8 アイリスエディション」製品公式ウェブサイト <https://www.irisohyama.co.jp/b2b/robotics/products/keenbot-t8/>

#### ■KEENON Robotics について

2010年に設立された KEENON Robotics（本社：中国上海、代表：Tony Li）は、AIテクノロジーを使用して周囲の生活に力を与えることに取り組んでいます。世界をリードする商用サービスロボット会社です。安定した効率的で実用的な商用サービスロボットをビジネスコアとして、同社はレストラン、ホテル、病院などのさまざまなシナリオにインテリジェントなソリューションを提供し、反復的で退屈なワークフローから人々を解放します。キーノンロボット（KEENON製のロボット）は60か国以上に配備されており、世界中の20,000を超える顧客にサービスを提供しています。